

保健・医療・福祉

## NPO法人アクセシブル・ラボ

理事長 大塚訓平  
住所 〒320-0051 栃木県宇都宮市上戸祭町551  
電話 028-622-3905  
会員数 正会員 10名  
法人設立年 2013年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000638>

ホームページ <https://accessible-labo.org/>

Facebook



Instagram



### ★ 設立の趣旨

マチ・モノ・コト・ヒト

世の中に潜む様々な社会障害を当事者と一緒にPOPに解決します。

### ★ 事業の内容等

#### 【コンサルティング事業】

車いすユーザーの視点を取り入れた、今までにないコンサルティングを行っています。企業・学校への研修・講演・サービス向上の提案や、障がい当事者目線に立ったハード面の改修提案なども行っています。

#### (1) まだまだマナー | 自動車メーカー

車椅子使用者用駐車施設の利用におけるマナー向上を目的とした動画を監修いたしました。大人から子どもまで楽しく理解できるユニークな歌のアニメとなっています。そこには、車いすユーザーの移動のお困りごとを少しでも解消したいという願いが込められています。( <https://x.com/TOYOTA PR/status/1640624874984202245>)

#### (2) モバイルトイレ | 自動車メーカー

一緒にいつでも・どこでも・だれにでも快適なトイレが使える移動型バリアフリートイレレーラー監修しています。( <https://www.toyota.co.jp/mobile-toilet/>)

#### (3) 銀座アクセシブルガイドマップ | タイムアウト東京・全銀座会

銀座(東京都)の誰もが安心して、楽しく散策できる「アクセシブルガイド」の監修をしています。トイレ案内や、災害時の一時滞在施設なども分かりやすく表示しています。

( <https://www.timeout.jp/tokyo/ja/things-to-do/ginza-accessible-map-ed2>)

#### (4) 座・フィットネス® | 菓子・食品メーカー

障がいの有無に関わらず、老若男女だれでも楽しめるよう、座位(車いすorイスに座ったまま)・立位どちらでも行えるようにプログラムされたダンスフィットネス「座・フィットネス®」を実施しています。また、本プログラムの指導者養成講座も行っています。

( <https://za-fitness.net/>)

### ★ 私たちが提供できること

#### ① アクセシビリティの理解促進

アクセシビリティの考え方をわかりやすく伝えることができます。

#### ② 全国的なネットワークを活かした情報提供

全国の車いすユーザーとのつながりの中から、様々な情報を提供できます。

#### ③ 人材育成

様々な社会障害に対して、バリアフリーを提言できる人材を養成(派遣)できます。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

① 障がい当事者の意見をデザインの上流過程から取り入れるという、インクルーシブデザインを活用した製品・サービス開発、建築面でのアクセシビリティ向上に関するアドバイス、コンサルティングを得意としております。社会課題解決に直結するプロダクトやサービスをともに創りましょう。

② 「座・フィットネス®」をはじめ、障がい者と健常者が混ざり合う様々なプログラムを実施しています。ぜひ一度参加見学いただき、一緒にできることを考えてみましょう！

③ 市街地や、観光地などにおいて「アクセシブルマップ」は、選ばれる地域となるためにも有効です。一緒に「マチ」について見直してみませんか？



## NPO法人宇都宮国際障がい者乗馬協会

理事長 五月女裕久彦  
住所 〒321-0901 栃木県宇都宮市平出町2785  
電話 028-689-1117  
会員数 正会員14名 賛助会員2名  
法人設立年 2006年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000323>

メールアドレス [tategami2785@aol.com](mailto:tategami2785@aol.com)

ホームページ <https://tategami2785.wixsite.com/tategami>

### ★ 設立の趣旨

心身に障がいやストレスをもつ人たちに、馬を介在として障がいの程度に応じてふさわしいサービスの提供体制を確保し、障がい者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、サービスを提供する事業や乗馬に関するイベントを行い、障がい者の自立・就労・健康及び生活の質の向上に寄与します。

### ★ 事業の内容等

#### ①就労支援

一般就労に向けて作業や実習、適性に合った職場探し、職場定着支援などを行っています。

#### ②グループホームファミリア

障がいのある人が世話人などから生活や健康管理のサポートを受けながら、共同生活を送れる環境を提供しています。

#### ③ピルエット(放課後等デイサービス、児童発達支援事業所)

馬と接する機会を障がいのある人に提供し、健康や暮らしの向上を図ります。乗馬大会や体験乗馬会も開いています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①除草作業のノウハウ提供

県有地の除草作業を行っています。当該作業で培ったノウハウを提供することができます。

#### ②農福連携による農業支援

農家と障がい者が連携して農作業を行う農福連携事業を行っています。当該事業で培った農産物出荷などのノウハウを提供することができます。

#### ③障がい者の雇用支援

ビジネスホテルで障がい者が勤務経験を積むことにより雇用に結びつけるための事業を行っています。そこで培った人材育成のノウハウを提供することができます。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①障がい者に就労を身近に感じてもらうため、企業での実習生の受け入れ先を募集しています。障がい者の雇用を検討している企業の方は、お気軽にご連絡ください。

②乗馬大会や体験乗馬会における人的支援をお願いすることで、企業などとの連携を深めたいです。



## 認定NPO法人うりずん

理事長 高橋昭彦  
住所 〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1  
電話 028-601-7733  
会員数 正会員41名 賛助会員782名 140団体  
法人設立年 2012年 認定 2014年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000562>

ホームページ <https://npourizn.org/>

Facebook



Instagram



### ★ 設立の趣旨

私たちの住む地域のどこかで、重い障がいを抱えた子どもたちと、24時間体制でその子どもを介護している家族が暮らしています。「うりずん」は、子どもたちが友だちと楽しく遊び、保護者が介護から離れてひと息つける場所です。障がいのある子どもとその家族が、地域で「ふつう」に暮らせる社会の実現を目指しています。

### ★ 事業の内容等

#### ①通所事業

医療的ケアが必要な障がいのある方に日中活動を提供する「日中一時支援うりずん」、未就学児に成長発達を促す支援を行う「児童発達支援(重心型)はりゆん」、就学中の子どもに放課後や長期休暇中の活動を提供する「放課後等デイサービス(重心型)わらゆん」を運営しています。

#### ②訪問事業

「居宅介護・重度訪問介護・移動支援ていーだ」では、障がいのある方のご自宅にスタッフが伺い、見守りや入浴、通院・外出時の付き添いを行っています。

#### ③相談事業

「相談支援 ゆくゆん」では、障がいのある方や保護者からの依頼を受けて「サービス等利用計画」を作成し、定期的なモニタリングを行うほか、多様な相談に応じています。

#### ④栃木県からの受託事業

県障害福祉課から委託を受け、「栃木県医療的ケア児等支援センターくるん」を運営しています。医療的ケアが必要なお子さんとそのご家族、関係者が気軽に相談できる支援セ

ンターです。また、県医療政策課からも委託を受け、「栃木県小児在宅医療体制構築事業」にも携わっています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①企業・団体の協賛制度「うりずん応援団」での広報

この制度は、企業・団体からの協賛金を広告宣伝費として計上できるメリットがあります。また、協賛企業の認知度向上を図るため、「うりずん」ではホームページや広報誌、ポスター掲示、イベントなどで協賛企業・団体をPRしています。

#### ②地域イベントでの連携

イベントを共催できます。例えば、毎年10月には「ふれあいまつり in うりずん」を開催。2024年は地域住民や利用者家族ら約500人が参加し、併せて出展団体の活動報告を行いました。毎年6月に宇都宮動物園で開催される「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」では、利用者家族と動物のふれあいをご支援いただき、2025年は総勢60人のボランティアが協力してくれました。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①障がいのある方やその暮らしを知ってもらうための研修会やお祭りなどでの啓発活動を企業などと取り組みたいと思います。他団体と協力することで、地域全体の理解と支援の輪を広げていきたいと考えています。

当法人は重症心身障がい児者や医療的ケア児者の日中預かり、ホームヘルプ、ご家族への支援などを行っています。「うりずん」の理想は、ご本人とその家族が地域で自然に支えられ、当施設が不要となる社会の実現です。障がいのある人もない人も、ともに助け合える社会の実現を目指しています。

②現在、企業や他団体とは専門性を活かした多様な連携を行い、重度障がい児者や医療的ケア児者に対する社会の理解を増やす取組みを行っています。今後はこの輪をさらに広げ、業界内外とのつながりを強化していきたいと思います。将来的には重度障がい児者や医療的ケア児者が利用できる夜間預かりやグループホームの開設も構想しています。



## NPO法人自由空間ポー

代表理事 本郷秀崇  
住所 〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町1364-6  
電話 028-664-4531  
会員数 正会員 20名  
法人設立年 2006年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000311>

### ★ 設立の趣旨

自由空間ポーは、「居場所」「仲間づくりの場」の提供を通して、こころの病のある方々の社会参加を支援します。「安心して通える場所」「自分らしさが発揮できる場所」「仲間づくりと仲間同士の助け合いの場所」を目指しています。

### ★ 事業の内容等

#### ①居場所事業(地域活動支援センター:宇都宮市委託事業)

こころに病を抱えた方は、何もしなくてもいられる、人間本来のリズムでゆっくり過ごせる場所が必要です。しかし、まだまだ地域には、そういった居場所が足りません。

また、「何もしない居場所」に対して、社会の理解も未だ十分とは言えません。そのため自由空間ポーはこれからも「居場所」の大切さをアピールしていきます。

居場所にはいつ来てもいつ帰っても自由です。活動時間内、何時に来てても何時に帰ってもかまいません。顔を出す程度ですぐ帰ってもいいし、ゆっくりと過ごしてもかまいません。毎日でも、週数回でも、月に数回でも大丈夫です。生活リズムのペースメーカーにすることもできるし、たまに来て生活のアクセントにすることもできます。プログラムはありません。作業もありません。好きな時に来て、お茶を飲んでお菓子を食べながら、仲間やスタッフとおしゃべりや相談をしたりして過ごします。お話をしなくても仲間と一緒にいるだけでもホッとします。マイペースで過ごせます。そんな居場所を提供しています。

#### ②仲間同士の助け合い事業

仲間同士の助け合いを大切にしています。病気のこと、家族のこと生活のこと困ったこと、楽しかったことを、みんなで分かち合いながら過ごしています。当施設にはピアスタッフもいます。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①こころの不調を抱える方への回復支援

企業などでこころを病んでる方がいれば、元気になることができます。

#### ②実習生受け入れ

実習生の受け入れを実施できます。10年以上の実績を通し、「何もしない」ということが、どれほどこころに病をかかえた方に大切なのかを、現場を通してお伝えできます。

#### ③ボランティア受け入れ

ボランティアの受け入れが可能です。職場や家庭で生きる、「こころ」との向き合い方、支援方法などを提供することができます。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

①企業の社員食堂や休憩所などで、「何もしない居場所」を設置してみませんか？ピアスタッフと一緒におしゃべりしたり、お茶をしたり、お昼を食べたり、ただその近くにいたり。こころに病を抱えた方に一緒に向き合っていきましょう。

②休職中の方への支援プログラムに「何もしない居場所」を取り入れてみませんか？「元気になったら、会社に戻る」そのような仕組みと一緒に作りましょう。

③たくさんの情報があふれ、時間に追われることが多い社会の中で、何もなくて良い場所があることを、伝えていただけませんか？社内報や社内掲示板などを利用した情報提供などについて、ぜひご協力ください。



## NPO法人自立生活センターとちぎ

理事長 齋藤康雄  
住所 〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア103  
電話 028-638-2538  
会員数 正会員10名  
法人設立年 2011年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000536>

メールアドレス [ciltochigi@silver.plala.or.jp](mailto:ciltochigi@silver.plala.or.jp)

ホームページ <https://www.ciltochigi.org/>

Facebook  
(はーと)



Instagram  
(Tochigi Cil)



X



### ★ 設立の趣旨

どんなに重度の障がいがあっても、自分らしく地域の中で普通に生活できるように、障がい当事者が中心になって運営している団体です。2004年に全国自立生活センター協議会へ加盟が承認され、活動が始まりました。自立生活プログラム、ピア・カウンセリング、集いの場の提供、相談支援、権利擁護活動を通して、障がいへの理解、障がい者の自立(依存先を増やす)を考え、誰もが共に暮らせる共生社会の実現を目指す活動を行っています。

### ★ 事業の内容等

#### ①自立生活プログラム

障がい者が地域で生活するために、福祉制度、金銭管理や生活に関わるノウハウについて学ぶ講座です。

#### ②ピア・カウンセリング

障がい者同士が話を聞き合い、自分を見つめ直し、自分に自信を持ち、自立のための力をつけるピア・カウンセリングです。

#### ③相談支援

障がい者やその家族が直面する問題や、障がい者の希望する暮らしを実現するための様々な相談に応じます。

#### ④重度訪問介護従業者養成研修

重度の肢体不自由者で日常的にサポートを必要とする方に、介護サービスを提供するための資格を取得するための研修を行います。

#### ⑤就労継続支援B型はーと

障害者総合支援法に基づく生活介護、就労継続支援B型の事業を一体的に行い、利用者の日常生活全般の支援や居場所の提供、就労につながる支援や生産活動を行います。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①障がい者が作る製品の販売支援

障がい者が作る製品の販売などを行政や企業のご協力をいただき販売しています。

##### 【主な販売場所と商品】

- ・来らっせ 餃子や餃子像の形をしたキャンドル
- ・和音 イチゴのキャンドルの販売
- ・とちぎ観光物産協会、ベルテラシエ大谷、宇都宮駅、宇都宮市役所など

#### ②当事者目線のヘルパー研修の実施

当事者目線のヘルパー研修(重度訪問介護従業者養成研修)を年3回実施し、機関紙も発行しています。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①障がいのある人への合理的配慮などについて学習会を開き、障がい者の権利や障がい者を取り巻く環境についての理解を一緒に深めていきたいと思えます。

②障がいについて企業との研修会などを開催し、ボランティア参加のきっかけになれば良いと思えます。

③大学や企業とコラボして、当事者の意見を取り入れてもらったり、災害時に役立つ商品の開発と一緒に企画したいと考えています。



## 認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ

理事長 金井光一  
住所 〒320-0827 栃木県宇都宮市花房2-8-6  
電話 028-611-3991  
会員数 正会員106名 賛助会員174名  
法人設立年 2007年 認定 2018年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000364>

メールアドレス [info@npocc.org](mailto:info@npocc.org)

ホームページ <https://npocc.org>

Instagram  
(すばる&くと)



X  
(チャレンジドITセンター)



### ★ 設立の趣旨

団体名の「チャレンジド」は障がいや難病をもつ人を表す英語「the challenged(挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人)」という意味です。障がいや難病をマイナスとしてのみ捉えるのではなく、障がいや難病を持つゆえに体験する様々な事象を自分自身のため、あるいは社会のためにポジティブに活かしていこう、という想いを込めた呼称です。

活動のキーワードは「自立」「参加」「協働」です。

### ★ 事業の内容等

①チャレンジド(障がい者や難病の方)の一般就労に向けての訓練事業、定着支援  
就労継続支援A型事業所「チャレンジドITセンター」、就労継続支援B型事業所「くと」、  
自立訓練事業所「すばる」、定着支援事業所「めでい」

②チャレンジドの相談事業、外出支援・情報事業  
・相談支援事業所「いま・ここ」、視覚障害者の同行援護事業所「あいさぼ」  
・視覚障害者の無償運送サービス「あいさぼ運送サービス」

③チャレンジド関係者への非営利活動  
・親の勉強会、土曜教室(絵画造形教室、パソコン教室)  
・障害福祉理解促進事業「キャラバン隊」

### ★ 私たちが提供できること

#### ①社会参加支援とノウハウの提供

障害者総合支援法に基づきチャレンジドの社会参加を応援する事業を行っています。事業の始め方、事業の運営については我々のノウハウの提供ができます。

#### ②ダイバーシティ雇用に向けた研修

チャレンジドの社会参加のため、採用側に立った障がい者雇用と法定雇用率達成のための研修を提供できます。

今まさに求められているダイバーシティ雇用(障がい者雇用・外国人労働雇用・LGBTQ雇用など)に関するポイントや雇用を継続して働くためのノウハウを提供できます。

#### ③福祉サービスを知る、家族向け勉強会

障がい者や難病者の社会参加に必要な福祉サービスを知るため、親(家族)の勉強会を行っています。このノウハウをさらに広めたいので一緒に活動したい団体を求めています。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

①今後、福祉サービスの業界では、高齢者・障がい者・児童に対する個別のサービスを一部統合した、共生型サービスの実現が求められています。我々には障がい者福祉サービスのノウハウがありますので、高齢者福祉サービス事業所や児童福祉サービス事業所の方と、新たな共生型サービスを一緒に実現しませんか？

②福祉サービスの情報提供である親(家族)の勉強会を、病院や学校など、地域の中で一緒に開催しませんか？このノウハウをさらに広めたいので一緒に活動したい団体を求めています。

これからの「住んでいてよかった」と思える地域づくりについて協働しませんか？



## NPO法人栃木DARC(ダルク)

代表理事 栗坪千明  
住所 〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2292-7  
電話 028-666-8536  
会員数 正会員69名  
法人設立年 2008年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)  
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000415>

メールアドレス [psw@t-darc.com](mailto:psw@t-darc.com)  
ホームページ <https://www.t-darc.com/>



### ★ 設立の趣旨

栃木DARCは2003年2月に依存症の回復支援施設として栃木県那須町に最初の施設を開設しました。薬物依存症者とその家族に対して、地域に根ざした回復支援事業を行います。地域の人々に対し、薬物依存症に関する普及啓発事業を行い、県内及びすべての人々が健やかに暮らせる地域づくりに寄与します。

### ★ 事業の内容等

#### ①薬物依存症者とその家族への回復支援事業

1st Stage Center(那須)、2nd Stage Center(野木)、3rd Stage Center(宇都宮)、Remission(那珂川)において、薬物依存回復プログラムを実施しています。

また、「喜連川社会復帰促進センター」と「宇都宮保護観察所」では薬物依存離脱を指導する講義として、SMARRPという再発予防プログラムを提供しています。「喜連川少年院」では面接とグループワークを実施しています。

#### ②薬物依存症に関する一般に向けた啓発事業

薬物依存症の正しい理解を促すためのセミナーを開催しています。

毎月、薬物依存症に関することやスケジュール、依存症者本人の体験談などを記載したニュースレターを発行しています。

街頭又は大型店舗周辺において薬物乱用防止巡回パトロール、援助者に向けた専門家育成のための講座としてアディクションカウンセラー養成事業を実施しています。また、薬物乱用防止教室の一環として、依頼のあった学校や団体に向けて講演を行っています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①セミナーの開催

薬物依存症に関する一般から専門家向けに、薬物依存症の正しい理解を促すためのセミナーを開催しています。

#### ②講師派遣

薬物依存について、その時点でのできるだけ正確な情報として、乱用から依存に至る過程、依存症とはどんな病気か、何を失うか、周囲の反応や、どのような予防策が効果的かなど実際の経験談と、施設メンバーのデータを交え講演をしています。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

Remission(旧 那珂川町コミュニティファーム)では、お米やナスなどを栽培しており、これらの農産物を活用し、企業と協働したいと考えています。



## 認定NPO法人ピンクリボンうつのみや

理事長 佐藤俊彦  
住所 〒321-0112 栃木県宇都宮市屋板町561-3  
電話 028-657-0808  
会員数 協賛企業及び個人 約150名  
法人設立年 2014年 認定 2020年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000684>

ホームページ <https://www.pinkribbon-no-wa.jp>

Facebook



### ★ 設立の趣旨

乳がん検診の啓発活動を通じて受診率の向上を図り、乳がんの早期発見に貢献します。早期発見を推進することで、乳がんによる死亡を減らし、女性はもちろん家族全員が安心して暮らせる社会の実現を目指します。また、早期発見・治療・フォローに関する情報提供や相談窓口を市民に広く開き、地域の健康増進に寄与します。

### ★ 事業の内容等

#### ①乳がん検診普及啓発事業

栃木県宇都宮市を中心に、乳がんに関する知識を広く伝えたり、乳がんの早期発見を啓発することを目的とした活動をしています。

具体的な目標は「全国初の乳がん検診受診率60%」で、乳がんは早期発見で治る病気です。乳がんの受診率を向上させることで、乳がんの死亡者数を減らし、女性の健康だけでなく、周りの家族や友人も安心できるような社会を作ることを目指しています。

#### ②乳がん患者・検診についての相談窓口

メールによる相談受付と専門医への取次をしています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ① 乳がん検診の啓発

栃木県宇都宮市を拠点に、乳がん検診の受診率向上を目的とした講演やイベントなどの啓発活動を行っています。代表の佐藤俊彦は「医療法人DIC宇都宮セントラルクリニック」の理事を務め、最先端の検査・治療機器を活用してがんの診療・治療に取り組んでいます。

乳がんの予防や早期発見において、画像診断機器による検診の重要性を広く伝え、切らずに治す乳がん治療の普及を目指しています。

#### ②受診率向上への取組み

ピンクリボンのことは知っているが、なかなか検診に行くことに結びつかないという方が、まだまだ多い現状です。今後も検診の大切さを啓発し、乳がん検診受診率向上を目指します。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①毎年10月に開催するピンクリボンセミナーでの寄付企業のブース出展や頒布チラシへの掲示を一緒に行いたいです。

②乳がん検診啓発活動として、10月を中心に、街頭キャンペーン、啓発資料配布、各メディアによる教育宣伝活動に共に取り組みましょう。

③協力企業による乳がん検診啓発活動を支援するための情報の提供とツールの活用を進めています。女性を応援している企業などと協働で事業を行うことができればと考えています。



## 認定NPO法人フードバンクうつのみや

理事長 木下一成  
住所 〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町2-2554-99(ふーばハウス1F)  
会員数 正会員67名  
法人設立年 2019年 認定 2023年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000838>

メールアドレス [info@fbu2189.org](mailto:info@fbu2189.org)  
ホームページ <https://fbu2189.org/>

X



### ★ 設立の趣旨

「もったいない」を「ありがとう」に。家庭や企業にある、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を寄贈していただき、食べ物に困っている方や支援団体などに無償で提供する活動を行っています。

### ★ 事業の内容等

- ①フードバンク(団体から集め団体へ配ります)  
食品関連企業などより寄贈された食品などを集め、福祉施設や生活困窮者の支援団体などに配る活動をしています。
- ②フードドライブ(各家庭から食品を集めます)  
家庭で余っている食べ物を学校や職場、スーパーやイベント会場などに持ち寄り、それらをまとめて寄贈する活動をしています。
- ③フードパントリー(困窮家庭へ直接支援します)  
公的扶助を受けていない生活困窮状態にある人や家庭、ひとり親家庭・低収入などの理由で生活に余裕のない子育て世帯などに直接食品の支援をする活動をしています。

### ★ 私たちが提供できること

- ①食品回収ボックス設置  
実店舗に食品回収ボックスを設置し、お客様から食品の提供をいただくことができます。
- ②食品ロス削減  
廃棄対象の食品や物流中の事故品、また、農家の方からは生産時の余剰作物や規格外品などの提供を受けることができます。
- ③支援物品の収集  
社員や会員、取引先に向けて食品を募り、集まった物品などを持ち込んでいただけます。
- ④フードドライブの実施  
会社や組合、自治体などのイベントなどに合わせてフードドライブを行います。
- ⑤災害備蓄品の入れ替え時の食品提供  
企業や自治体が災害時に備蓄している食品の入れ替えの際に、賞味期限が半年以上ある食品の提供を受けることができます。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①社内や仲間内でのフードドライブの企画を一緒に考え、実施してみませんか。
- ②企業の皆さんと関わりのあるイベントやお祭りでフードドライブを開催しましょう。
- ③社員教育の一環としてフードロスの取組みなどを一緒に考え、社員の皆さんにフードバンクの活動を知ってもらい、活動の支援に理解をいただきたいと思えます。また、企業の得意分野を活用してフードバンク活動(の意義)を広めたり、支えたりする方法がきっとあると思えます。一緒に考えましょう。  
公的な後ろ盾のない脆弱な活動ではありますが、必要な活動です。継続の鍵は地域の皆さんからの応援とご支援です。食のセーフティネットを一緒に作りましょう！よろしく願います。



## NPO法人フードバンクあしかが

理事長 高沢友佳里  
住所 〒326-0801 栃木県足利市有楽町835  
電話 070-5080-6258  
会員数 正会員11名  
法人設立年 2023年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000921>

メールアドレス [foodbank.ashikaga@gmail.com](mailto:foodbank.ashikaga@gmail.com)

ホームページ <https://foodbank-ashikaga.amebaownd.com/>

Facebook



Instagram



### ★ 設立の趣旨

フードバンクや生活困窮者支援、就労支援、被災者支援、環境保全、社会参加促進などの事業を通じて、社会的孤立や貧困、障がいなどにより困難や不安を抱える方々が居場所や役割を見つけ、多様で幸福な生活を送れるよう支援しています。

### ★ 事業の内容等

#### ①フードバンク事業

食品受贈としてフードドライブを行い、年間を通して食品寄付が見込めています。商業施設では、フードドライブを通年実施し、24時間受付をしている所もあります。具体的な場所については当法人のホームページをご参照ください。

食品寄贈では、足利市役所の担当各課で生活相談する場面において、市民に「フードバンクあしかが」から食品をお渡しすることで、相談の質の向上に寄与しています。全国フードバンク推進協議会に加盟し、食糧支援のプロジェクトにも参加しています。

#### ②生活困窮者などの自立支援及び就労支援事業

足利市の生活相談担当各課、民生委員、主任児童委員、地域包括支援センターや足利市社会福祉協議会と連携し、食品支援を核として、相談につながりやすい体制づくりに寄与しています。

#### ③被災者に対する食糧・生活物資等の支援事業

被災地への物資支援に協力しています。

発災時に全国のフードバンクから支援を受けられるよう活動しており、足利市災害ボランティアセンター運営訓練にも参加しています。また、発災時に孤立が予想される中山間

地域での食品提供計画を進めています。災害ケースマネジメントにおいても、関係各所との連携を活用した仕組みづくりを計画中です。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①コーディネート

多様化する社会課題に取り組むためには、みんなの力が必要です。NPO・行政・企業など、それぞれが持つ強みを生かした重層的な動きとなるようにコーディネートすることを得意としています。例えば企業から食品寄贈のお申し出があった際に、子どもたちの食育体験イベントを企画しました。企業の広報誌にも大きく取り上げていただき、子どもたちも「体験格差」を解消でき、まさに「三方よし」のイベントとなりました。お悩みに取り組みながら、想像以上の結果を得られたと喜んでいただきました。

#### ②ネットワークづくり

つながりの再現性を高めるためにはネットワークづくりが欠かせません。私たちは事業を展開する中で様々な人たちと協力しています。そうした、実際に顔を合わせ、言葉を交わし、課題を共有する私たちの活動から、ネットワークを作る基礎ができました。人と人、企業と企業、企業と地域を結ぶネットワークを作ることができます。

#### ③教育・研修

困窮者支援や食糧問題、SDGsに関することなどの講演をしています。教育活動や研修のお手伝いができます。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

私たちは食品を核として、企業と地域をつなぐコーディネートを得意としています。特に中小企業は地域貢献の専任担当者がいないことが多いため、地域に貢献したいと思っても、なかなかその一歩を踏み出すことが難しいのではないのでしょうか。

私たちと一緒に、貧困や災害などの社会課題に取り組みながら、社会も企業も良くなっていきましょう。地域の質を高め、企業と地域の関係を良くするために、あらゆる団体・企業と協力していきたいです。



## 認定NPO法人蔵の街たんぽぽの会

理事長 大木洋  
住所 〒328-0073 栃木県栃木市小平町6-11  
電話 0282-24-9833  
会員数 正会員94名 賛助会員28名  
法人設立年 2002年 認定 2018年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000102>

メールアドレス [tanpopo@cc9.ne.jp](mailto:tanpopo@cc9.ne.jp)

ホームページ <https://www.k-tanpopo.org>

### ★ 設立の趣旨

1982年から活動を始め、「障がいの有無にかかわらず、誰もが羽ばたける場を創る」ことを念頭に、「げんきとほこり」を合言葉に、人と人が支え合う地域づくりを目指しています。

私たちは、障がいのある子どもや大人、高齢者など、様々な人々が互いのハンディにとらわれず交流し、楽しみながら自立と自己実現を目指しています。また、地域の子育て支援や環境整備を通じて、人と人が支え合う地域社会の実現に寄与することを目的としています。

### ★ 事業の内容等

#### ①とちぎおもちゃ図書館・子育て支援センターたんぽぽ

約30年前、障がいのある子どもを持つ親の会を中心に始まった「とちぎおもちゃ図書館」。現在では、500種類以上のおもちゃを自由に使える場として、子どもから高齢者まで世代を超えて交流できる場所となっています。おしゃべりや情報交換を楽しみながら、「おもちゃ」を通じて地域の人々と触れ合っています。2020年4月からは、栃木市の「子育て支援センター」としての機能も担い、地域の子育てをサポートしています。

#### ②地域活動支援センター オープンハウスたんぽぽ

地域に開かれた地域活動支援センターです。一人ひとりに誠実に向き合い、社会の一員として、働く喜びを感じながら豊かに自立ができることを目標にしています。(栃木市委託事業)

#### ③子どもの居場所事業 こどもの部屋たんぽぽ

「子どもの居場所」とは、地域にあるもうひとつの“家”のような存在です。放課後に安心して過ごせる、自分の家のような場所として、子どもたちの心のよりどころとなっています。(栃木市委託事業)

### ★ 私たちに提供できること

#### ①交流できる場づくり

障がい児・障がい者・高齢者など様々な人がお互いのハンディにかかわらず交流できる場を提供しています。その経験を活かして、交流の場や場所づくりのノウハウを提供できます。

#### ②おもちゃの無料貸出

おもちゃの無料貸出をしています。「とちぎおもちゃ図書館」で、色々なおもちゃに触れる機会を作ることで、子どもの豊かな感性を育み、親子の触れ合いの場をつくりませんか。

#### ③地域の各種イベントへの参加

企業や団体などが実施する地域のイベントやフェスに参加できます。子育て支援では遊び場を提供し、「オープンハウスたんぽぽ」では創作活動で制作したグッズなどの物販などを行っています。

#### ④寄付品の受け入れと提供

企業や団体などからの寄付品を受け入れできます。例えば、フードバンク活動をしている団体と協働し、企業や農家などから寄付された野菜や食料品などを受け入れ、「こどもの部屋たんぽぽ」で活用したり、地域の子ども食堂への提供に協力しています。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

「オープンハウスたんぽぽ」では就労を目指す方や、半日就業後に通所する方もいます。就職への足がかりとして、企業での職場体験を受け入れていただくと大変ありがたく思います。企業からのボランティア受け入れや、利用者の職場体験を通じて、少しずつ相互に理解を深めて距離を縮めていけたらと考えています。

また、利用者の得意分野を活かしたオリジナル商品の開発にも力を入れていますので、企業や他団体と連携して、商品の開発・販売へとつなげていければと思います。



## 認定NPO法人まごの手

理事長 小暮悦子  
住所 〒327-0314 栃木県佐野市新吉水町375  
電話 0283-85-8720  
会員数 正会員10名 賛助会員105名 7団体  
法人設立年 2005年 認定 2015年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000256>

メールアドレス [npomagonote@marble.ocn.ne.jp](mailto:npomagonote@marble.ocn.ne.jp)

ホームページ <https://www.npomagonote.com/>

### ★ 設立の趣旨

2001年から活動を始め、公的な福祉制度によらない地域住民の助け合い活動を通して、「近隣の人々がお互いに助け合う思いを培い、安心して暮らせる地域社会づくり」を目的としています。

### ★ 事業の内容等

#### ①地域住民の生活援助

病院・買い物の付き添い、買い物代行などを行っています。まごの手独自の介護保険制度外の在宅福祉サービスです。

#### ②福祉有償運送、移送サービス

通院・外出の送迎など、単独では公共交通機関の利用が困難な人を対象としたサービスです。

#### ③地域の居場所づくり

ふれあいハウス「たんとんとん」を運営しています。地域の人が気軽に寄れる、会員制の高齢者の居場所です。

#### ④コンサート・地域交流会・みんなの居場所「とんとんとん」

会員や地域の人との触れ合い・交流、学びあいの輪を広げるイベントの開催や、地域のほっとできるみんなの居場所「とんとんとん」を運営しています。地域とまごの手を結ぶ活動です。

#### ⑤他団体との連携及び交流

子ども支援団体「ちょこっと」(子どもの居場所・子ども食堂などを運営)への協力及び協働事業を行っています。「ちょこっと」の活動会場として場を提供したり、イベントや講習会など、共に事業を企画・運営しています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①多世代が集う居場所

ふれあいハウス「たんとんとん」では、多くのボランティアが長く活躍しています。ミニイベントの講師として、佐野の民話と歌や、高齢者向け折り紙教室を開いてくださる方もいらっしゃいます。その他、子ども支援団体「ちょこっと」と連携することで、赤ちゃんから高齢の方までが集う場を提供できるようになりました。多世代の人が集まる居場所があります。

#### ②地域との連携による情報発信

情報発信に力を入れています。とちぎ福祉ネット、佐野市社会福祉協議会、佐野市民病院の地域包括支援センターとも密に連絡を取り合いながら、まごの手の広報や各主催講座への参加にご協力いただいています。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①地域の居場所づくりを行う中での課題として、食の問題があります。一人暮らしの高齢者に対して、安く昼食の提供ができたり、持ち帰りのお惣菜を用意できるような体制づくりをしたいと考えています。

現在の居場所事業では、食事の提供を試みっていますが、ボランティアの力が必要です。食事の提供に協力いただくと助かります。

②今後は企業とも連携し、定年を控えた企業の従業員を対象に、定年後の日常にボランティア活動を取り入れ、地域に貢献することの意義と価値を考える講座などを開きたいと考えています。定年後の生活を考えるきっかけをつくり、「お互いさま」の心で、もうひとつの居場所をつくってみませんか。



# NPO法人CCV

理事長 福田由美  
住所 〒322-0044 栃木県鹿沼市鳥居跡町1420-11  
電話 0289-74-7070  
会員数 正会員15名 賛助会員71名  
法人設立年 2009年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000461>

メールアドレス [creative\\_c\\_a@yahoo.co.jp](mailto:creative_c_a@yahoo.co.jp)

ホームページ <https://www.ccv-npo.jp/>

Instagram



X



## ★ 設立の趣旨

一人ひとりの個性を大切に、多くの人々と手を結び、心豊かに安心して生活できる地域社会をつくりまします。コミュニケーションを大切に、やりがいを持って自主的に働ける職場をつくりまします。発達障害の特性を理解し、エビデンスのある専門性の高いサービスを提供します。法人の持続的発展のために経営の安定を目指します。

## ★ 事業の内容等

- ①地域連携事業「うわのビレッジ・あまやの舎」「KANUMAISM」  
地域の皆様と共に様々な活動を展開しております。企業とのコラボレーション事業もたくさんあります。
- ②フリースクールCCV学園  
一人ひとりの個性を生かした学びのプログラムを一緒に考える小学生・中学生のフリースクール、働きながら3年で高校卒業資格が取得できる高校生のフリースクールです。
- ③大人のフリースクール  
高校卒業後の学びを創造するフリースクールです。
- ④あおぞらプラン  
免許を取得することに困難さを持つ方のための教習プログラム、鹿沼自動車教習所「つばさプラン」による運転免許取得を全面的にサポートするプログラムです。
- ⑤CCV大学

CCV大学の目指すところは「異年齢」「異文化」の多様な交流から新しい価値を発見することです。

## ⑥障害福祉サービス

「できる！」を仲間と楽しみながら、本人の特性に合った作業に取り組んでいただきます。

## ★ 私たちが提供できること

- ①人材不足への対応  
企業の人手不足に対応できる、短時間勤務やルーティン業務に適した人材の提供が可能です。
- ②復職支援プログラム  
従業員の中に、メンタル不調からの復職希望者などいらっしゃいませんか？  
復帰までの訓練プログラムを提供できます。
- ③対人コミュニケーション支援ワーク  
コミュニケーションがちょっと気になる従業員はいらっしゃいませんか？  
本人の特性を活かした、対人コミュニケーションに関するワークを提供できます。

## ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①社会貢献活動やCSRの一環として、企業での職場体験・研修機会を設けていただけませんか？学校では学べない教育プログラムを企業とNPOの新しい協働モデルで作らしましょう。
- ②地域資源を活かしたSDGs型事業として、鹿沼産ヒノキを活用したアロマ商品(オイル・芳香蒸留水)の開発・販売を進めています。今後は、生産に係る機材(チッパー・蒸留器など)の充実・販売協力などについて一緒に活動していきましょう。
- ③福祉的就労や復職支援の場としての作業環境づくり、商品製造プロセスへの参画も歓迎です。  
上記のような活動を通じ、持続可能な地域社会の実現をともに目指していきましょう。



## NPO法人はばたき

理事長 広瀬浩  
住所 〒321-1272 栃木県日光市今市本町16-9  
電話 0288-21-3365  
会員数 正会員30名 賛助会員40名  
法人設立年 2003年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000156>

メールアドレス [habataki@ec6.technowave.ne.jp](mailto:habataki@ec6.technowave.ne.jp)

ホームページ <https://www.bbweb-arena.com/users/habataki/index.html>

Facebook



### ★ 設立の趣旨

身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者に対する就労援助と福祉関連知識の普及などを行い、その社会参加の促進と地域福祉活動の向上を目指しています。

### ★ 事業の内容等

#### ①就労に向けた作業訓練

取引先企業協力のもと、安定した作業量を確保しています。

#### ②就労に関する相談事業

当事業所利用者以外からの相談についても、多くの機関との連携を密に行い、対応しています。

#### ③福祉施設への作業受注に関する協力事業

はばたきでは、障がい者の厳しい就労状況と賃金ニーズに応えるため、社会資源の不足という課題に取り組み、作業訓練や福祉施設への受注援助を行っています。日光市、日光市社会福祉協議会、企業からの作業を受注しています。

#### ④福祉関係の知識の普及事業

毎年定期的に実施している地域交流会やおおぞら(カフェ)・ふらっと(居場所)で、はばたきイベントを開催しています。

#### ⑤他団体との交流事業

ボランティア市民活動フェスタに実行委員やマルシェへの出店などで参加しています。

#### ⑥地域活動支援センター事業

「日光市地域活動支援センターふらっと」は障がいのある方の居場所として利用されています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①地域とつながるイベントの開催

地域とのつながりを持てるよう、コミュニティカフェおおぞらで月1回イベントを開催しています。近隣子ども達や住民の方、企業の方もCSRの一環として参加いただいております。また、今市中学校と連携し、同校生徒や当法人利用者が製作した絵画の展示会を春・夏・冬の年3回開催していますので、お気軽にお立ち寄りください。

#### ②室内作業

建築資材や電子機器などの企業、行政、団体などからの受注実績があります。障がいがある方の障がい特性に合わせた工夫をしています。

#### ③施設外就労

企業での構内作業や館内清掃・緑地管理などでの作業をお受けできます。

共同受注システム※や個別受注などで、地域の企業複数社と連携し受注を承っております。※日光市内にある「障がい者就労支援事業所」の営業や受注の窓口を一本化してコーディネートする仕組みです。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

今、実施している事業の継続を第一に考えています。そのためには協力いただける方、事業所やボランティアの仲間を増やしていきたいと思っています。企業の有する経験や知識、企業の特徴を活かしたイベントや事業などを協働したいと思います。

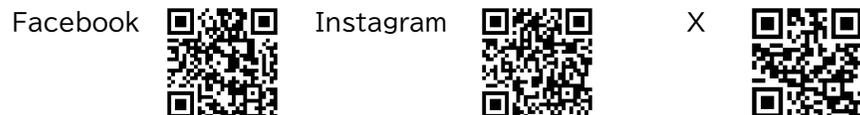


## 特例認定NPO法人そらいろコアラ

共同代表理事 増田卓哉 鳥飼蓬子  
住所 〒323-0802 栃木県小山市大字東山田23-18  
電話 090-3697-2532  
会員数 正会員11名 賛助会員78名 5団体  
法人設立年 2020年 特例認定 2023年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)  
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000861>

メールアドレス [sora.iro.koala.npo@gmail.com](mailto:sora.iro.koala.npo@gmail.com)  
ホームページ <https://npo-sorairokoala.jimdofree.com/>



### ★ 設立の趣旨

子どもと家族への包括的・長期的な支援を通じて、妊娠・育児の孤立を防ぎ、貧困や不適切な養育から子どもたちを守り、安全な環境の中で健全な成長と自立を促します。誰もが健康で、安全に、安心して生活できる地域づくりに寄与します。

### ★ 事業の内容等

#### ①妊娠・出産・子育ての無料LINE相談窓口「コアLINE」

夜間・土日を含む365日、匿名・無料で、助産師・看護師・医師・保育士・社会福祉士などの相談員チームが、妊娠・出産・子育てに関する不安や相談にお答えします。自治体や医療機関、専門機関とも連携し、適切な資源や支援につなげます。

#### ②妊産婦さんと赤ちゃん、子どもと親の居場所「そらいろポケット」

妊産婦さんがほっと一息つける居場所「そらいろポケット」を運営。育児相談に応じるほか、育児用品など必要な物資の提供や、自宅訪問も行っています。また、居場所を必要とする子どもたちに対して、食事や遊び、学習、入浴のサポートも実施しています。地域子ども食堂「コアラ食堂」や、季節ごとの体験イベントも運営しています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①妊娠・出産・子育ての不安に寄り添うサポート

企業や団体などで働く妊産婦や子育て世代の方々が抱える不安や悩みに寄り添い、サポートできます。LINEでの相談や居場所の提供を通じて、妊娠・出産・子育てに関するさまざまなご相談を受け付けています。

#### ②活動ノウハウの共有

居場所づくりやLINE相談に関心のある方と、一緒に活動したり、運営ノウハウなどを共有することができます。

#### ③包括的性教育の実施と講師派遣

活動の中で寄せられる声をもとに、包括的性教育の実施や、これに関する講師派遣を行っています。

#### ④妊娠・子育て家庭のニーズ発信

妊娠・子育てに関するニーズ調査や日々の活動から得られる知見やニーズの発信・提言を行います。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

体験イベントや子ども食堂、シンポジウム、寄付マルシェなどのチャリティイベントの共同開催に取り組みたいと思っています。

日々の活動や、IT活用、組織体制の整備、イベント運営などにおいても、プロボノ(無償の専門支援)・ボランティアを受け入れています。加えて、法人の福利厚生プログラムの一環として、妊娠・出産・育児に関するLINE相談などの仕組みをご提案することも可能です。

子育てや子ども支援は、次世代を育てて地域を再生するまちづくりにつながる支援です。各地域で「そらいろコアラ」の活動の輪を広げていきたいと思っていますので、ぜひお力添えをお願いいたします。



## NPO法人みらい

理事長 清野恵美子  
住所 〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町大字丸林371-12  
電話 0280-57-2673  
会員数 正会員37名  
法人設立年 2002年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)  
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000115>

メールアドレス [info@npomirai.or.jp](mailto:info@npomirai.or.jp)  
ホームページ <http://npomirai.or.jp/>

### ★ 設立の趣旨

みらいでは、心の悩みを抱える方はもちろん、その病気と障がいをお持ちの方が、地域や実社会において「一人でも生きていけるように」と願い、隣人とその家族が協力しながら総合支援を行っています。

### ★ 事業の内容等

#### ①相談支援

心の悩みやその病気でお悩みの方、又は障がいの有無についてのお問い合わせなど、医療機関に受診される前と後に関わらず相談できる場所です。

#### ②暮らしの支援

心の悩みや病気を抱え部屋に籠りがちな方、長い入院経験によりハンディを背負う方などへ、まず規則正しい生活へと導くお手伝いをします。暮らしの知恵を磨く「how toプログラム」の実施や外出演習も行っています。

#### ③働く支援

体力・集中力が高まった方や自信の着いた方には職業体験と、その継続支援を行っています。実社会から求められる人材育成を目指しています。

当法人が提供・運営するサービス(飲食店の営業全般・公園などや公共施設の営繕・ポストイング作業)、モノ(手芸品・eco石鹸)を供給する仕事です。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①社会参加を目指す就労支援

就労継続支援B型事業所として、心の病気と障がいを併せ持つ方を対象に、職業体験と生産活動に従事していただく中で、一層の社会参加と社会貢献を目指しています。企業への橋渡しや紹介なども随時行っています。

#### ②自主事業の運営による実践の場

事業の一環として、「カレーハウス」や「花れい工房」を運営しています。実際の業務に関することで、働く力を育む実践の場を提供しています。企業への橋渡しの第一歩です。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①企業への就労実績を活かし、障がい者雇用をした際の相談対応や就労後のフォローアップなど、企業と障がい者のつなぎ役を担い、継続的なサポートを考えています。

②企業で働く経験を積むための実習生受け入れについてもご協力をお願いします。



## NPO法人とちぎ障害者労働自立センターゆめ

理事長 佐藤賢二  
住所 〒329-1231 栃木県塩谷郡高根沢町宝石台1-1-14  
電話 028-675-7771  
会員数 正会員27名  
法人設立年 1999年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000014>

メールアドレス [npo.dream@nifty.com](mailto:npo.dream@nifty.com)

### ★ 設立の趣旨

障がい者の支援事業をはじめ、高齢者の介護や子育て支援のほか、障がい者に関する地域福祉を推進しています。また、市民活動への連携や理解促進などを行うことによって、誰にでもやさしく、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与します。

### ★ 事業の内容等

#### ①障がい者の労働の場づくりを目的とした清涼飲料水などの販売活動

1999年より清涼飲料水メーカーと連携し、自動販売機の補充作業を障がい者団体に直接依頼することで、障がい者へ働く場を提供しています。また、就労継続支援B型事業所を運営し、障がい者に働く場と居場所の両面での支援を行っています。

#### ②障がい者の労働機会づくりを資金的に支援する活動

清涼飲料水の販売において、1本あたり2円を原資とし、「障害者労働機会づくり支援基金」として拠出し、障がい者の就労支援活動を資金面から支援しています。

#### ③障がい児相談支援

高根沢町からの委託を受け、「高根沢町障害児者生活支援センターすまいる」として、障がい児・障がい者及びそのご家族を対象とした相談支援業務を行っています。

#### ④就労継続支援B型事業所「抛り所えん」の運営

福祉的就労の場として、就労継続支援B型事業所「抛り所えん」を整備・運営し、障がいのある方の働く機会を提供しています。

### ★ 私たちが提供できること

#### ①企業や学校などへの自動販売機の設置

社会貢献型の自動販売機を設置できます。1本あたり2円が寄付される社会貢献型の自動販売機を企業や公的施設、学校などに設置しています。宇都宮市の特別支援学校では、自動販売機の補充を流通の授業として取り入れ、当団体の職員がゲストティーチャーとして納品管理や賞味期限管理、損益分岐点の考え方、コミュニケーションの指導を行っている事例もあります。

#### ②CSR構築支援、市民活動団体のサポート

長年にわたり築いてきたネットワークとノウハウを活かし、地域での協働事業やイベントの実施にあたり、他団体との橋渡し役を担います。企業のCSRの構築や市民活動の推進もサポートしています。

### ★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

企業では、精神的なストレスにより、うつになる方が増えていると聞きます。職場と家庭だけでなく、私たちのような事業所が第三の居場所となることで、来所される方のストレスや不安などが少しでも軽減され、気持ちを受容する場となることが理想です。見守りなどを通して、少しずつ社会復帰に近づけるような取組みを、企業と連携しながら進めていければと思います。

地域の企業や学校など、様々な団体が自然とつながり、一緒に活動できる場をつくる、そんな地域のセーフティネットを築いていくことが私たちの活動の夢です。

